

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 つくば市立栗原小学校 担当教諭名 中村 泰

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成22年12月 9日 (木) 10:20 ~ 13:00
対象学年と人数	5, 6年生 78名
派遣講師名と出身国	・シャ エムディ フォエズ(バングラデシュ) ・ソ ジョンウン (韓国) ・布浦 万代(コーディネーター)
活動の内容	・母国語での挨拶 ・国旗の説明 ・国の自然, 文化, 物価等の紹介 ・民族衣装の紹介 ・母国の遊びを用いた交流
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 子どもと接するにも不慣れな部分がありましたが, それをコーディネーターの方がうまくフォローしてくれました。日本語も上手で, 小学生にも十分理解することができました。
生徒・保護者等参加者の感想	・韓国やバングラデシュの遊びや文化を通し, たくさんの違いがあることは知っていたが, 似たような点もあることを知り, 興味深いと思った。(児童) ・バングラデシュの季節が6つあるというのには, びっくりした。(児童) ・韓国の民族衣装が目の前で見られ, それを着ることができたのでうれしかった。(児童) ・外国の方とあまり, 話すことがないのでいろいろなことが分かって良かった。(児童)
先生の感想	内容の提案や, 進め方などコーディネーターの方が行ってくれたので, 教師側の負担も少なく行うことができ, とても助かった。日本語の上手な外国の方が自国の文化を多くの写真や, 具体物を用いて説明していたので, 子どもたちも分かりやすかったようだ。 基本的に恥ずかしがり屋の児童が多く, 積極的に講師と関わろうとすることがなく, 交流するという面でもあまり深まりがなかったのが残念である。何回かすれば次第に打ち解けてくるのであろうが, そうするのも難しいと思うので, 何かしらの対策が必要であったように思う。

